

経営比較分析表（令和5年度決算）

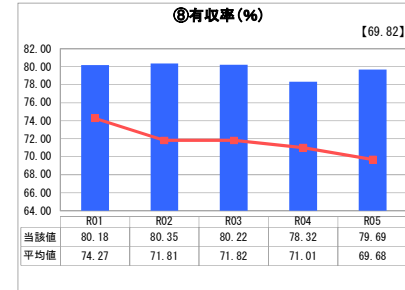
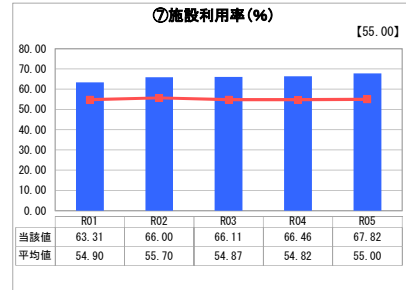
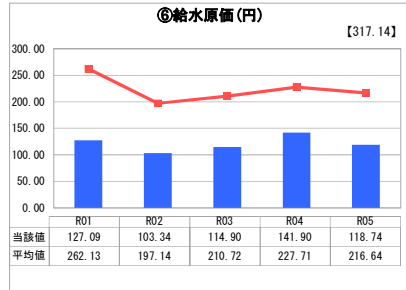
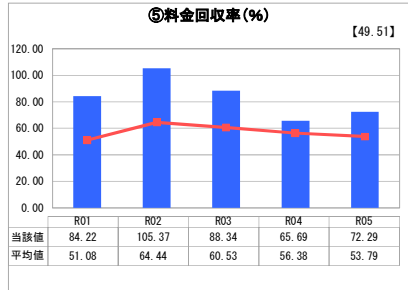
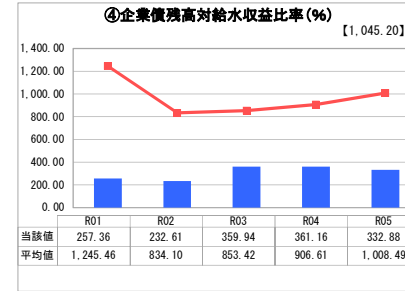
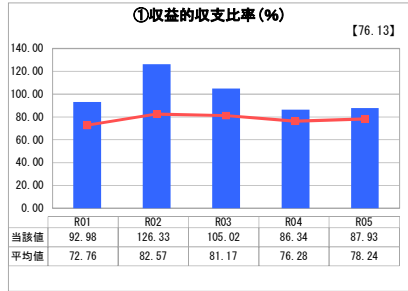
群馬県 昭和村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	98.88	1,430	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,979	64.14	108.81
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,888	31.20	220.77

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

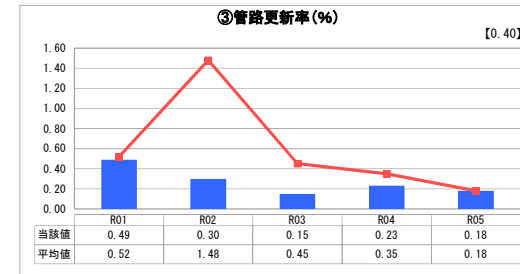
1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
・物価高騰対策で料金の減免をしたことにより、料金収入が減額し、前年度と同様100%を下回ってしまったが、今後も健全な経営を続けていくための努力をしたい。
- ④企業債残高対給水収益比率
・全国平均及び類似団体と比較すると低い数値で推移している。
- ⑤料金回収率
・物価高騰対策で料金の減免をしたことにより、料金収入が減額したため、料金回収率が低くなっている。
- ⑥給水原価
・施設管路の老朽化に対応する修繕料が減少したため。
- ⑦施設利用率
・年間を通した給水需要が多く、昨年度と同程度に推移している。
- ⑧有収率
・全国平均及び類似団体平均値を上回っているが、漏水箇所の修繕や適切な設備更新に努め、更なる改善を図っていきたい。

2. 老朽化の状況について

- ③管路更新率
・管路の更新は道路改良工事等により随時布設替えを実施している。

2. 老朽化の状況



全体総括

- ・平成29年度の料金値上げ改定により、一般会計への依存体質が改善された。料金改定以降も施設管路の老朽化が著しいが、大規模な修繕が減少傾向にあり、収益的収支比率は、改善傾向にある。
- ・老朽化への対応については、布設からの経過年数が多く漏水の頻度が多い管路の点検を適正に実施した上、補修・更新を検討し、安定した維持管理を図る必要がある。